

件名	第8回 蒲田都市づくり推進会議		
日時	平成26年2月17日(月) 10:00~11:30	場所	大田区立消費者生活センター2階大集会室
出席者	委員20名、(内2名代理出席)、オブザーバー1名、傍聴者16名 計37名		
配布資料	第8回蒲田都市づくり推進会議資料		

(以下、敬称略)

◆開会・挨拶

- ・座長より、挨拶

◆資料説明

- ・大田区事務局より、蒲田都市づくり推進会議設置要綱・構成員名簿、蒲田駅周辺交通調整部会 構成員名簿、蒲田駅西口駅前広場検討部会 設置概要・構成員名簿、蒲田駅周辺再編プロジェクト パンフレット、第7回蒲田都市づくり推進会議議事概要の追記修正箇所、第7回蒲田都市づくり推進会議での主な指摘事項(資料1)、平成25年度蒲田都市づくり推進会議の検討経緯(資料2)について説明。
- ・日建設計総合研究所より、東口駅前広場初動期整備計画 平成25年度のみ(資料3)、東口地下自転車駐車場整備計画 平成25年度のみ(資料4)、西口駅前広場の検討(資料5)について説明。
- ・大田区事務局より、今後のスケジュール(資料6)、東口駅前広場の初動期整備計画の見直し改善点についてバーチャル・リアリティ(VR)とパワーポイントで説明。

◆意見交換

【以下、主な意見交換内容】

座長)

西口駅前検討部会設置の対象範囲について、資料を見ると中央の交通島が抜けていますが、ここも対象範囲ではないのでしょうか。

⇒大田区)

資料の中では、西口における初動期整備の目的の1つが快適な歩行者空間でしたので、このような記載になっています。ご指摘のとおりこちらの方も検討の中に加えたいと考えております。

座長)

デザインの問題では、ある部分を切り離して考えると、往々にして良くないものが出来上がるので、全体でどうするかということ、かなり強く意識してやってください。また、西口検討部会ではデザインコンセプトから詳細な案まで議論が入り込んでいくと思いますが、大田区の景観アドバイザーには、緑化、色、公共施設の材料に詳しい専門家の方がおられるので、事務局を通じて適宜アドバイスを頂くようにお願いします。

もちろんデザインコンセプトの検討については、地元の方を中心に議論して頂いた方がよいと思いますが、具体的にどういうものを使って、どのように表現するか、ストリートファニチャーや照明の配置、照明器具のデザインなど、非常に細かいことが次から次へと出てくるので、是非そういう所を専門家の方を活用するようによろしくお願い致します。

委員)

検討部会の構成員の件なのですが、駅前広場に面してグランデュオと東急プラザがありますが、どなたか代表を入れた方がよいと思うのですが。

⇒大田区)

まず、デザインの専門家に関しては、景観アドバイザーなどの専門家の方に必要に応じてご参加いただける仕組みを作っております。設置要綱の中にも、通常の構成員の他に「必要と認める者」を構成員とすることができる規定があります。グランデュオや東急につきましても、必要なら、これにより参加して頂くことが可能です。

座長)

デザインの検討では、その後の管理をしやすいというのが大事な1つの視点だと思います。グランデュオや東急プラザも当然広場に面していますから、管理には関係してくると思いますので、必要に応じて、是非

積極的にアプローチをして欲しいと思います。

委員)

JR 駅ビルと東急は駅前広場に面しているメインであり、これからの管理に重大な影響をもっていますから、最初から部会委員に入れたほうがいいと思います。また、交通島の中央をわざわざ範囲から外す必要はないと思います。中・長期的にどうしても交番を街の中から見えるところに設置したいと考えており、ここが候補地になると思っています。

座長)

第1回の部会が明日なので、明日は無理だと思いますが、部会委員については、少し考えて頂ければと思います。

⇒大田区)

貴重なご意見ですので、検討していきたいと思います。

委員)

西口の広場を検討する際に、部会にデザインの専門家がいないので、具体的に大田区から提案をしてイメージを作っていただかないと、みなさんに意見を聞いても、デザインはできないと思います。大田区として顔になる部分について、専門のデザイナーなしで検討するというのはあまりいいことではないと思います。また、西口については二本の道路がエリアに入っているのですが、道路をどうするかということについての議論も必要です。

⇒大田区)

デザインの問題は、確かに専門性という部分は必要であります。まず地元の方のご意見をお聞きするためにこのような体制になっております。状況に応じては専門的な知識のある方にご参加頂くことは当然考えなくてはならないと思います。

西口の補助 37 号線、駅街路 3 号線の道路については、将来的に改善の余地があると思いますので、それも視野に入れながら、まずは初動期での段差の解消、北側の歩道の整備等を考えております。

座長)

参考として、大岡山の駅前広場検討の時には、地元の協議会が中心となって、広場のデザインのコンセプトについて一年以上検討したと思います。全体の色合いや雰囲気は協議会の皆さんで議論しながら決めていきましたが、最終的デザインを設計するときには、地元ということもあり、私の大学のデザイン専門の先生が幾つかの案を作って、かなり時間をかけて調整しました。今回も、専門家の方を活用して頂きたいと思います。

委員)

西口の初動期の整備ですが、交通島中央の六角形の植栽と、南側の一段高くなっている円形広場を歩行空間の改善のために早めに整備していきたいという話がありました。ここで議論している内容は、地域住民一人一人が把握するチャンスがなかなかないので、順次整備を始めて、目に見える形で進んでいったほうがいいと思います。そして、商店街、町会を挙げて町内掲示板などで意見募集をして、地域を巻き込んで頂きたいと思います。

⇒大田区)

建設的なご意見ありがとうございます。会議は公開で行っておりますが、地域の皆様が情報を得るのが大切ですので、あらゆる媒体や公の場を活用しながら周知をし、検討を進めていきたいと考えております。また、なるべく目に見える形で早く実行するという意識しております。地元の方がまとまって頂いて、行政が素早く着手することを考えております。それは東口でも同じことです。

座長)

参考ですが、私の関わっている別の所では、商店街の空き店舗などに協力してもらい、模型やパンフレットを置いて、通りすがりに眺めて意見を書いて出したりできるスペースを設けているところがあります。また、川崎では、地下街のアゼリアをお願いをして、東口の大きなオーロラビジョンに CG を 1 時間に 1 回、1 分程度流してもらうという広報活動をした記憶があります。

駅前広場の工事は、駅前広場を使いながらやらなくてはならないので、工程がかなり複雑で大変です。一旦全部を閉鎖することはできませんので、動線の切り替えにより、一時的に歩行者の皆さんに不便を強いら

なくてはならないというようなどころも出てくると思います。工事の工程を作るのもかなり大変なので、わかりやすいところから始めて、早め早めの作業をお願い出来ればと思います。

東口の駅前広場は、来年度に都市計画の大きな動きをするということで、資料6を見て頂きますと来年度の前半辺りで都市計画案の作成となっており、これは法定の手続きとして案の説明会とかが当然ありますから、そのタイミングでまた推進会議を行うことになると思います。都市計画の手続きでは、区域と面積と理由を書けばよいのですが、例えば交通管理者との協議では、どこまで決めておけばいいのか説明してください。

⇒大田区)

今年の9月くらいには都市計画案を確定する予定で、現在、警察と意見交換をさせて頂いております。3月以降に安全施設課の方々と協議を始めます。

座長)

ちなみに地下自転車駐車場の形はそこまでには決まるのでしょうか。

⇒大田区)

地下の自転車の配置につきましては、まだ自由度があると思いますが、出入口等は、地下が決まってこない地上も決まってこない部分もありますので、ある程度その時期までには固めたいと思っております。

座長)

是非、JRにご協力頂いて、地下自転車駐車場の平面形状が良くなればと思います。平成27年度に事業認可とありますが、この時には基本的な設計のスペックがすべて決まっているのが手順なので、協議の時間も長くはないので、精力的にやって頂ければと思います。

委員)

東口駅前広場の形状について、昨年あたりから東口商店街から要望させて頂いたところ、横断歩道の形状や地下の改善をして頂いて、いよいよ地元の方に説明をする段階に来たと思います。商店街の会員が地元としては一番興味を持っており、今年の夏ぐらいまでにはデザインの大枠が決まり、後戻りができないこともあると思いますので、密に会議を行っていきたくと考えています。しかし、こちらの商店街や町会では、駅街路2号のほうは範囲外になってしまいますので、区のほうでも広い範囲でお声がけしていただいて、地元の意見を聞いてほしいと思います。

⇒大田区)

まさにPR、周知徹底というのは必要だと考えております。今回パンフレットを作成させて頂きましたが、1万部印刷しております。先日、蒲田の東西の地域力推進地区委員会での説明や、町会にお邪魔させて頂いて回覧数をご用意させて頂きました。それ以外にも区政情報コーナーに300部、出張所窓口や図書館に置いて、広く周知していきたくと考えています。また、都市計画案を作成する過程でも説明会はあるのですが、それとは別に地元の方にご理解して頂けるような、あるいは区民の方全体にご理解して頂けるような機会も設けていきたくと考えております。

委員)

先ほど座長がお話ししました大岡山の駅前広場ですが、行政と我々障害者団体、高齢者の方も合同で駅前広場を検討しました。大岡山駅は交番が前面に出て、駅前広場に多目的トイレがある。しかもそのトイレの脇に地下の駐輪場の入り口がある。街のニーズは蒲田と大岡山とは違うかもしれませんが、良くできた広場だと思っています。大岡山の駅前に行きまして、参考に見て頂くと良いと思います。

座長)

大岡山の交番についてはかなりいろいろな経緯がありましたが、最終的には現在のような形になりました。それから、障害者の方々にご協力頂き、せつかく作るのですからと、誰でもトイレを設置しました。

それでは、本日はこの程度にさせて頂き、次回開催は、概ね夏前くらいを予定してはいますが、地元の方への周知ですとか、関係者との個別協議をよろしく申し上げます。西口駅前広場検討部会に参加のみなさんは、これからかなりの頻度でいろいろなことが議論されていくと思いますので、是非ご協力をよろしくお願いいたします。

◆その他

- ・最後に大田区まちづくり推進部再開発担当部長より挨拶

第8回蒲田都市づくり推進会議 出席者（敬称略）

平成25年度 蒲田都市づくり推進会議 構成員名簿

◆学識経験者

委員

東京工業大学大学院 社会理工学研究科教授	中井 検裕	【座長】
東京工業大学大学院 総合理工学研究科教授	屋井 鉄雄	【副座長】（欠席）

◆地元関係者

委員

蒲田東地区自治会連合会	小山 君子（欠席）	
蒲田西地区自治会連合会	藏方 庸光	
蒲田東口商店街商業協同組合	田中 彰一	
蒲田西口商店街振興組合	片山 篤榮	
蒲田東口地区まちづくり協議会	藤田 静男（欠席）	飯尾 松男（代理出席）
蒲田大好き委員会	望月 清志	
蒲田再開発推進委員会	田中 常雅	
特定非営利活動法人 大身連	宮澤 勇	

◆大田区議会議員

委員

都市・環境委員会 委員長	岡元 由美	
都市・環境委員会 副委員長	深川 幹祐	

◆東京都

委員

担当

都市整備局都市基盤部 街路計画課長	朝山 勉 （欠席）	大野 誠（欠席） （区部街路計画係長）	松岡 秀一（欠席） （区部街路計画係主任）
都市整備局都市基盤部 交通企画課長	池内 光介 （欠席）	林 清一郎（代理出席） （交通施設担当係長）	白勢 和道（欠席） （交通施設担当係主任）
都市整備局都市基盤部 交通企画課		安田 剛之 （交通施設担当係長）	

◆大田区

委員

担当

まちづくり推進部長	川野 正博 （欠席）		
まちづくり推進部 再開発担当部長	八嶋 吉人		
まちづくり推進部 まちづくり管理課長	黒澤 明	渡部 正美（欠席） （まちづくり企画担当係長）	
まちづくり推進部 交通企画担当課長	吉田 春彦	西沢 一成 （まちづくり企画担当係長）	
まちづくり推進部都市開発課長 （蒲田再開発担当課長兼務）	齋藤 浩一	大貫 恵二 （地域整備担当係長）	近江 淳一 （地域整備担当係長）
まちづくり推進部 蒲田再開発担当副参事	近藤 純司	菊地 裕之 （地域整備担当係長）	
まちづくり推進部 防災まちづくり担当課長	落合 邦男	倉 一郎 （防災まちづくり担当係長）	
都市基盤整備部 都市基盤管理課長	畑元 忠	小泉 謙二郎（欠席） （計画調整担当係長）	岡本 慎一（欠席） （地域交通対策担当係長）
都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課長	高橋 義博	貝塚 悟（欠席） （自転車対策担当係長）	
連続立体事業本部長 （連続立体事業課長事務取扱）	荒井 昭二		
連続立体事業本部 連続立体事業再開発担当課長	岡田 誠（欠席）	安元 綾子 （連続立体再開発担当係長）	

◆国土交通省

オブザーバー

都市局街路交通施設課	東 智徳 （企画専門官）		
------------	-----------------	--	--

